

# 現代住宅における

# 和の在り方



和風庭園とは古来、住宅の庭に自然を取り込んだものであった。  
現代の住宅において、人は洋風の暮らしが中心となっているが、  
『和』の心を忘れたのではない。新たな『和』との関係を考えてみた。

撮影◎岩佐孝一 写真提供◎Heaven's Garden

## 現代住宅と『和』

現代の住宅建築は基本的に洋風の住宅が殆どです。バリエーションは豊富にあり、都会的でモダンな鉄骨・コンクリート系住宅から、コテ塗りの南欧風住宅など様々なスタイルがあり、住む人はライフスタイルや価値観にあった住宅を建てることができます。しかし和風住宅の数は著しく少ないのです。現代住宅において和室の存在価値はかなり下がっており、畳の部屋、そのものがかなり少なくなっています。あつたとしてもリビングの端に4畳半程度の畳コーナーが程度で、暮らしの中心にあるというケースは殆どないはずです。椅子に座り、フローリングの床で暮らす、現代の住宅では余り和室は必要とされていないのかもしれない。

しかし和風庭園はいかがでしょうか？生活の一部としての庭も良いのですが、庭のあり方はそれだけではありません。見ているだけで心が落ち着く、ただ眺めているだけで自然の中にいるような気持ちにさせてくれる、そんな和風庭園。元々、和風庭園は自然環境を庭に取り込み、表現したものと言われております。そしてそのスタイルも様々で、広がりのある大きな庭園から、一坪程度の小さな坪庭まで対応可能です。自然の一部を取り入れる。そんな和風庭園のある暮らしは、心の深いところに染み入る空間なのかもしれません。





2



3



4

1.庭の全景。円形に包まれた白い壁の中に和風庭園が広がります 2.白壁とアルミの柱を背景に浮かび上がる庭園。和とモダンの融合 3.モダンな外観の邸宅。この中に和風庭園があるのは、なかなか想像しづらい 4.庭石とモミジ。一つ一つに表情があり、重厚な趣を放っています



1

和 *My Garden Story Part. 3*  
Style Japanese Garden of Present age

# 現代モダンと『和』との共生をテーマにデザインされた庭園

アーバンモダン  
住宅と『和』

茅ヶ崎 F邸

茅ヶ崎の潮風と穏やかな人々の笑顔が行き交う町の一角にこの邸宅があります。単にモダンでなく、そして『和』だけではない空間。今回のコンセプトはその相反する2つのテーマを融合させることでした。

通りから見た場合にはモダンな鉄骨造のタイル貼りの住宅に、重厚でソリッドな大理石タイルのエクステリア。整然とした佇まいで色調もモノトーンを基調とし、都会的な印象に仕上がっています。外部からは中の庭園部は見えないように白い塗り壁が円形に囲い込み、繋がりながらも独立した空間となっています。駐車スペースや玄関までのアプローチ、駐輪スペースは庭を包み込むような塗り壁の外側に存在し、庭園部は庭石や植栽、丘陵地のように広がる芝生で覆われています。

この計画をさせて頂いて感じたこと、それは現代モダンの住宅と『和』の相性が非常に良いことです。一見相反するような2つの要素なのですがシンプルモダンの主張の非常に少ない背景に対して、一つ一つが存在感のある庭石や植栽たちが樹々の中に埋もれていた時よりも活き活きして見えます。人工的な造作物と対比して見える自然という存在。新しい『和』という存在との向き合い方がこの庭園にはあると思います。

受け継ぐもの。  
受け継がれるもの。

今回の計画は二世帯住宅でした。1階は親世帯、2階は子世帯となっており、親世帯の夫婦が「気持ちよく眺められる庭を」という事をテーマに計画していきました。その中のご要望で「以前の庭にあった庭石をなるべく生かしてほしい」というものがありました。しかし子世帯の要望では「今の住まいにあったデザインを」と言われていました。庭石は長い歴史を経て、ここに辿り着いたもので味わいや趣はあるものの、どちらかというと現代的ではありません。しかし背景処理を施し、その中に緑の木々や庭石を据えると、まるで白いキャンパスに描かれた悠久の庭園が現れます。あるがままではなく、今の時代に合せたデザインにし庭を受け継ぐ。『和』の可能性はまだまだ広がります。



# 洋館と『和』デザイン庭園の融合

和 My Garden Story Part. ③  
Style Japanese Garden of Present age

## 洋風住宅と『和』の融合

鎌倉 丁邸

庭園とは住宅と共に存在するものである。生活の一部であり、住宅そのものを包みこむ空間であり、環境でもある。鎌倉山という風光明媚な環境の中にあるこの庭園は鎌倉山茶房というカフェの裏庭にある。明るい黄色の外観の邸宅は森の中の洋館のようであり、『和』の要素など微塵も感じさせない。また店内から見えるテラス席にはパランルが掲げられ、午後のティータイムには鎌倉山の爽やかな空気とともに楽しめるようになっている。

このカフェは意外なことに一階の奥の部屋が和室になっており、そこからは表の

イメージからは想像もつかない、『和』の空間が広がっている。奥には水鉢がありそこから流れるような枯山水の川。山の石、川の石が混然一体となって作られた石庭。季節ごとに移ろいゆく景色も『和』の庭園は見せてくれる。ちやうど訪れたときは秋の始めだったので、まだ緑が夏の面影を残していたが、あとひと月も経つと赤や黄の紅葉を楽しませてくれるはずである。

現代住宅における『和』の在り方について考えるうちに感じたことは『和』は本能的に好きであるということ。その空間に身をおいとくとき、すっと柔らかな気持ちになれる。それも『和』の一つの要素だと思えます。大きな空間でなくても日常の中に『和』をとりいれてみる。なんとなく落ち着く、安らぎを感じるなどそういった感覚は自然と人の心に受け継がれているものなのかもしれません。



1



3

1. 様々な石や砂利を使うことにより、豊かな枯山水の庭が表現されている。 2. 竹製の袖垣。この後ろには立水栓があり、演出的な目隠しとなっている。 3. 鎌倉山茶房外観。この外観から奥に立派な和風庭園があることは驚きである



2



取材協力◎鎌倉山茶房



本物を大切にする  
エクステリア・ガーデニングの  
専門店です。



ヘブンスガーデン代表  
柿崎 浩司

資格：二級建築士  
インテリアコーディネーター  
趣味：料理、仕事  
フラワーアレンジメント

2003年テレビ東京系『TV  
チャンピオン（ガーデニング  
王決定戦）』に出場



ヘブンスガーデン  
〒252-0813  
藤沢市亀井野 1515  
Tel:0466-90-0555

☎0120-08-6658  
www.heavens-garden.co.jp

ヘブンスガーデン

検索

太陽ひとりじめ! ガーデンルームキャンペーン!

## Garden Room CAMPAIGN!

期間：2009年10月1日～12月31日まで

だんだん肌寒くなるこの季節、太陽の光をいっぱい感じてみたいありませんか? ヘブンスガーデンではこの秋、人気のガーデンルームをいつもよりお求めやすい価格で提供しております。通常 15%OFF のガーデンルームを 30% OFF にてお届けしております。この機会に是非ご検討ください。

割引対象商品

● TOEX (東洋エクステリア) ガーデンルーム  
商品、Zima (ジーマ) Cocoma (ココマ)